

# 甲府駅南口周辺地域修景計画

平成24年3月

山梨県・甲府市

## 目次

1 . はじめに.....	1
2 . 甲府駅南口周辺地域の位置づけと現況 .....	4
2 - 1 . 上位計画及び関連計画における位置づけ.....	4
2 - 2 . 地域の成り立ちと現況 .....	15
2 - 3 . 公共施設の現況.....	26
2 - 4 . 眺望の現況.....	35
3 . 県民、市民などの意向 .....	36
3 - 1 . アンケート結果の概要 .....	36
3 - 2 . 若者ワークショップ結果の概要.....	38
3 - 3 . まちづくり団体からの提案の概要 .....	43
3 - 4 . 「修景の方向性（素案）」に対する意見の概要.....	46
4 . 甲府駅南口周辺地域の景観上の課題.....	50
5 . 甲府駅周辺地域の位置づけと景観形成の方向.....	53
6 . 甲府駅南口周辺地域の修景計画の基本理念と基本目標 .....	54
6 - 1 . 修景計画の基本理念.....	55
6 - 2 . 修景計画の基本目標.....	57
7 . 甲府駅南口周辺地域の景観形成の骨格 .....	60
7 - 1 . ゾーン区分 .....	60
7 - 2 . 拠点と景観形成軸 .....	60
8 . ゾーン別景観形成の方向と具体的な取り組み.....	63
8 - 1 . ゾーン別景観形成の方向と取り組みメニュー.....	63
8 - 2 . ゾーン別景観形成の方向と具体的な取り組み.....	64
8 - 2 - 1 . おもてなし駅前ゾーン .....	64
8 - 2 - 2 . 風格と賑わいの都市ゾーン .....	65
8 - 2 - 3 . 歴史と文化へのアプローチゾーン .....	66
8 - 2 - 4 . 歴史・文化の香る住居・業務複合ゾーン.....	69
8 - 2 - 5 . 賑わいの商業ゾーン.....	70
8 - 2 - 6 . 潤いの住居・業務複合ゾーン .....	72
8 - 2 - 7 . 地域全体の共通事項.....	73
9 . 主要地点の修景イメージ.....	75
9 - 1 . 駅前広場のリニューアルのイメージ .....	76
9 - 2 . 平和通りのリニューアルのイメージ.....	80
9 - 3 . 舞鶴通り沿道の空間整備のイメージ.....	85

10 . 取り組みの実現に向けて .....	87
10 - 1 . 段階的な取り組みの方針 .....	87
10 - 2 . 段階的な取り組みのスケジュール .....	87
10 - 3 . 実効性を高める今後の取り組み .....	89
【参考資料】 .....	90
甲府駅南口周辺地域修景計画検討委員会設置要綱 .....	90
甲府駅南口周辺地域修景計画検討委員会委員名簿 .....	91
個々の施策、取り組み等に関する語尾の表現 .....	93
「甲府城」という名称に関して .....	93

### 「甲府城」という表現について

かつての甲斐の国の府中城であり、現存する石垣、お堀などに囲まれている範囲を特定する名称としては、「甲府城 = 江戸初期には使われていた名称」「甲府城跡 = 史跡名称」「舞鶴城公園 = 都市公園名称」の3つが考えられる。

本計画では、基本理念の実現に重要な要素として「歴史・文化」を掲げており、「甲府城」が歴史的資産、景観的な象徴としてのイメージをあらわすのに最も適していると考えられることから、本計画では「甲府城」という名称を用いることとした。なお、明らかに県史跡や都市公園のことを示す場合や既定計画等における表現を引用する場合はこの限りではない。

# 1.はじめに

## (1) 計画の背景と目的

甲府駅南口周辺地域は、山梨県及び甲府市にとって、都市づくりの重要拠点であり、拠点にふさわしい都市機能の充実と空間整備を図るべきエリアであり、県都の玄関口にふさわしい景観づくりが重要な課題となっている。

現在、地域では「甲府市中心市街地活性化基本計画」に基づき、中心市街地の再生に向けた各種取り組みが展開されている。紅梅地区市街地再開発事業が完了し、県庁舎や市役所の建て替えなどの大きなプロジェクトが進行中であり、これらプロジェクトのインパクトを適切に受け止め、甲府城をはじめとした歴史・文化資源を活かしつつも、未来に向けたまちづくり、景観づくりが求められている。

また県土全体に目を向けると、リニア中央新幹線、中部横断自動車道の整備など、県土のさらなる飛躍につながるプロジェクトも進行中である。都市づくりの重要拠点である甲府駅周辺地域においては、これらも視野に入れたまちづくり、景観づくりが求められていると言える。

本計画は、このような背景を踏まえ策定するものであり、甲府駅南口周辺地域の景観の骨格となる駅前広場、道路、公園など公共施設の再整備を計画的に進めていくためのものである。このため、公共施設の再整備のあるべき姿とそれを実現するために必要な取り組みを示している。また、本計画に基づき公共施設の再整備を進めていくことにより、民間による様々な活性化に向けた取り組みのきっかけとなることを期待するものである。



(2008年6月10日撮影・山梨県提供)

計画対象地域



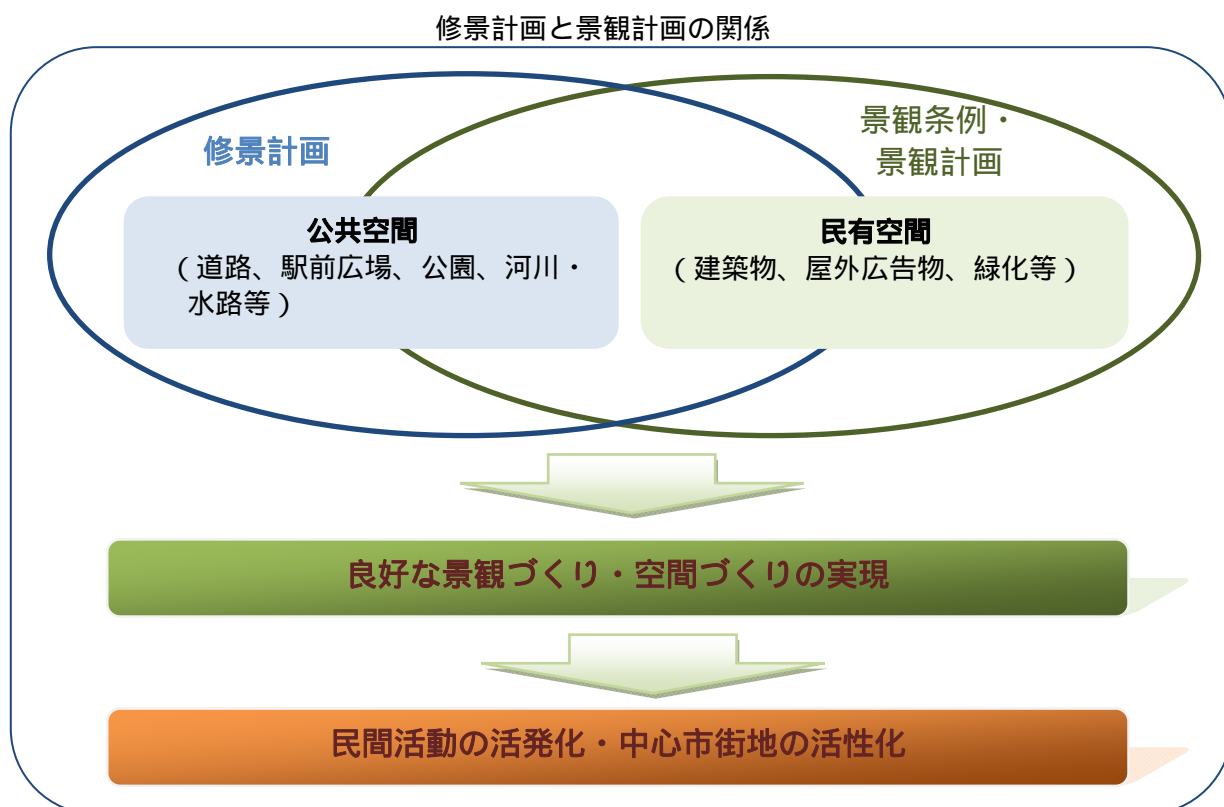
## (2) 修景計画と景観計画の関係

良好な景観は、公共空間と私有空間が一体となって形成されるものである。

「甲府駅南口周辺地域修景計画」は、駅前広場、道路、公園など公共施設の再整備により景観の骨格を形成しようとするものであり、また甲府市が策定する「甲府市景観条例・景観計画」は主に私有空間における建築物、工作物等に関する景観誘導の指針となるものである。

このため、「甲府駅南口周辺地域修景計画」と「甲府市景観条例・景観計画」が一体となって、甲府駅南口周辺地域における良好な景観づくり・空間づくりを実現していくものである。

官民一体となって空間的な魅力の向上やまちとしてのポテンシャルの増大を図ることにより、居住者、就業者、観光客を増加させ、多様な交流機会の創出、民間活動の活発化や中心市街地の活性化につなげていこうとするものである。



### (3) 計画の策定経緯

山梨県及び甲府市では、計画策定に向けて平成22年7月に「甲府駅南口周辺地域修景計画検討委員会」を設置し、様々な検討を進めてきた。

平成22年度は、検討委員会(4回)、アンケート調査、学生ワークショップ、意見交換会を実施し、修景の方向性(素案)を取りまとめ、ホームページで修景の方向性(素案)を公表、広く意見やアイデア等を募集し、「修景計画検討資料」として取りまとめを行った。

平成23年度は、「修景計画検討資料」に基づき、検討委員会(3回)、関係団体との意見交換会及びパブリックコメントなどを実施してきた。「修景計画」はこれらの結果を踏まえ取りまとめたものである。

#### これまでの検討経緯

時期	会議等	主な内容
平成22年 7/16	第1回検討委員会	・委員委嘱/関連計画の確認等/現状確認のためのまち歩き
8月下旬 ~9月上旬	アンケート調査 (街頭聞き取り、地元 住民・事務所、WEB)	・来訪者、地元住民・事業者などに対して、甲府駅周辺地域の 印象、景観上良いもの・悪いもの、景観づくりの方向などにつ いてアンケート調査を実施
9/29	第2回検討委員会	・地域の景観上の課題について ・景観上の課題と修景の方向性(骨子案)について
10/30	若者ワークショップ	・若者の意見を計画に反映するため、山梨大学、山梨県立大学、 甲府工業高等学校の学生によるワークショップを実施 ・4班に分かれて、「平和通り」「駅前広場周辺」「舞鶴通り・ 舞鶴城公園南側」「舞鶴城公園北側」について、景観づくり のあり方を検討
11/11	意見交換会	・若者ワークショップの成果及びまちづくり団体の提案を発表 し、これを題材に出席者と検討委員会メンバーとが意見交換 を実施
12/20	第3回検討委員会	・修景の方向性(素案)について
平成23年1月	方向性(素案)の公表	・ホームページで修景の方向性(素案)を公表し、広く意見や アイデア等を募集
3/18	第4回検討委員会	・修景計画検討資料について
4月~6月	関係団体との 意見交換会	・修景計画に関して、関係団体(甲府商工会議所、甲府青年会 議所、甲府駅南口のまちづくり研究会、新世紀城下町研究会、 甲府城南商店街振興組合、ちょうちん横丁、丸の内八番街商 店街、東栄会)との意見交換会を実施
7/28	第5回検討委員会	・修景計画原案について
8月	関係団体との 意見交換会	・修景計画に関して、関係団体(地域活性化委員会作業部会、 丸の内八番街商店街)との意見交換会を実施
9/30	商工会議所からの提言	・甲府商工会議所より『甲府駅南口周辺地域修景計画』に対す る提言書の提出
11/9	県政出張トーク(テー マ:歩道のユニバーサ ルデザイン)	・障害者福祉団体等(県身体障害者福祉連合会、県車いす生活 者の会、県視覚障害者福祉協会、山梨大学大学院医学工学総 合研究部)と意見交換
12/16、22	甲府駅南口のまちづく り研究会の要望	・甲府駅南口のまちづくり研究会より「甲府駅南口の駅前広場 及び修景等に関する要望書」の提出
平成24年 1/16	第6回検討委員会	・修景計画原案について
1/23~3/13	各種団体等 からの要望	・県車いす生活者の会、甲府市身体障害者福祉連合会、県視覚 障害者協会、甲府市視覚障害者協会からの要望 ・甲府商工会議所、経済同友会、山梨県バス協会、山梨県タク シー協会からの要望
2/14~3/14	パブリックコメント	・「甲府駅南口周辺地域修景計画」(素案)を県HP上で公表 し、県民の意見を募集
3/27	第7回検討委員会	・修景計画について

## 2 . 甲府駅南口周辺地域の位置づけと現況

### 2 - 1 . 上位計画及び関連計画における位置づけ

#### ( 1 ) 総 括

山梨県及び甲府市が策定した上位計画及び関連計画などから、対象地域の位置づけやまちづくり、景観づくりの方向を把握するとともに、計画対象範囲の景観形成に影響を及ぼすと考えられる主要なプロジェクトの概要を整理した。

#### まちづくりに関する計画

「山梨県都市計画マスタープラン」や「甲府市都市計画マスタープラン」において、甲府駅周辺地域は、山梨県及び甲府市にとって、都市づくりの重要拠点であり、拠点にふさわしい都市機能の充実と空間整備を図るべきエリアとして位置づけられている。

また、このような位置づけのもと、南口周辺地域では現在、「甲府市中心市街地活性化基本計画」に基づき、“買い物の場として楽しめる”“歴史や文化にふれることができる”“定住の場として選ばれる”中心市街地の再生に向けた各種取り組みが展開されている。

#### 景観形成に関する計画

「美しい県土づくりガイドライン」において、甲府駅周辺地域は、「風格と品のあるもてなしの駅前景観を形成する」とともに「にぎわい創出に寄与する中心市街地の景観を形成する」ものとされている。また「甲府市景観形成基本計画」において、甲府駅周辺地域は、歴史景観と都市景観の調和・共存などを図りながら、『甲府を象徴する「風格」と「華」のある景観形成』を誘導していくものとされている。

このような位置づけのもと、景観形成のための様々な取り組みが位置づけられている。

甲府駅周辺における景観形成のための具体方策

計画名称	具体方策等
山梨県都市計画マスタープラン	・老朽化した既存の建物・都市基盤の更新
甲府市都市計画マスタープラン	・甲府城（舞鶴城公園）の保全・活用 ・鉄道軸及び道路軸における良好な車窓景観の形成
美しい県土づくりガイドライン	・屋外広告物（位置、形態意匠）に対する景観誘導 ・低層部の店舗の連続性の確保、デザイン看板の設置 ・歩道の修景整備
甲府市景観形成基本計画	・歴史景観と都市景観の調和・共存（歴史的建造物の保全／隣接建築物の景観誘導） ・甲府駅周辺の先導的・重点的景観形成（甲府城跡周辺等の景観誘導） ・印象的な眺望景観の確保（建築物、屋外広告物等に対する景観誘導） ・平和通りの風格ある景観形成（街路樹の保全・維持管理／官公庁施設の先導的・印象的な景観整備） ・中心商業地の賑わい創出に寄与する景観形成（歩行空間の景観整備／ポケットパーク等の確保／デザイン看板等の設置） ・甲府駅及び鉄道沿線における来訪者に配慮した景観形成（駅ホームの修景整備／車窓からの眺望を阻害する建築物等の景観誘導）

## 観光振興に関する計画

「甲府市観光振興基本計画」においては、「自然と調和した都市観光」をキャッチフレーズに総合的な観光振興策を示している。

甲府駅周辺や景観形成に関する施策としては、観光資源の整備と活用に向け、自然景観・歴史景観の保全、甲府駅周辺の拠点整備、まちなかの緑化の推進などが位置づけられているほか、交通手段の充実に向け、レトボンの活用、駐車場整備の検討などが位置づけられている。

## 主要プロジェクト

甲府駅南口周辺地域においては、県庁舎耐震化、市新庁舎建設などの大きなプロジェクトが進められている。

これらは、甲府駅周辺のより良い景観づくりを先導していくことが期待される。

甲府駅南口周辺地域の主要なプロジェクト

プロジェクト名等	概要
中心市街地活性化	・市街地の整備改善、都市福利施設の整備、まちなか居住の推進、商業の活性化、公共交通機関の利便性増進などハード・ソフトの各事業を総合的かつ一体的に推進されている。
県庁耐震化等整備	・耐震基準を満たしていない県民会館、県民情報プラザ、第二南別館及び東別館の4庁舎を、新庁舎として集約建替が進められている。
甲府市新庁舎建設	・分かりやすい、使いやすい、安全、安心をコンセプトに、市庁舎の建替が進められている。
紅梅地区再開発事業	・紅梅北通り、紅梅南通り及びオリオンストリート（春日本通り）に囲まれた地区での市街地再開発事業で、平成22年10月にグランドオープンした。

また、甲府駅北口を中心に（一部、南口も含む）交通拠点の改善、交流拠点の形成、公共施設の整備、改善及び宅地の利用増進などを旨として、新都市拠点整備事業（土地区画整理事業、拠点形成事業）が行われており、北口駅前広場、よっちゃばれお祭り広場、甲府市歴史公園、中央消防署、自転車駐車場の整備のほか、甲府市藤村記念館の移築、甲州夢小路事業、甲府地方合同庁舎、NHK甲府放送局、新県立図書館施設の建設などが進められている。



(2) まちづくりに関する計画

山梨県都市計画マスタープラン（平成21年3月 山梨県）

<p>目的等</p>	<p>県が、現行都市計画区域を越えた広域的な観点から、今後の県の都市計画の方針を明確に示すもの。</p>	
<p>やまなし都市づくりの基本方針</p>	<p>都市づくりの基本理念を『都市機能集約型都市構造の実現』とし、具体的な都市づくりの方針を以下のとおり示している。 「美しく魅力あふれる都市づくり」は5本柱の一つとなっている。</p>	
<p>都市機能を集約した活力に満ちた都市づくり</p>		<p>1) 都市機能の集約化 2) 中心市街地の活性化 3) 多様な連携・交流の促進 4) 産業の振興</p>
<p>美しく魅力あふれる都市づくり</p>		<p>1) 歴史・文化資源の活用 地域固有の歴史的・文化的遺産を活用した都市づくり 2) 美しく魅力あふれる景観づくり 景観法を活用した建築行為等のコントロール 沿道の屋外広告物等の規制・誘導 3) 都市の顔づくり 拠点地区等での魅力ある景観整備</p>
<p>安全で安心して暮らせる都市づくり</p>		<p>1) 災害に強いまちづくり 2) 安全で安心な生活環境の形成 3) 誰もが利用しやすい都市施設づくり</p>
<p>環境と共生する都市づくり</p>		<p>1) 環境負荷の低減 2) 自然環境の保全 3) 郊外部や農山村集落における田園環境の保全 4) 都市の緑化</p>
<p>多様な主体の参加と協働による都市づくり</p>		<p>1) 市町村計画や他部門との連携強化 2) 都市づくりにおける多様な主体の参画</p>
<p>目指すべき広域圏域都市構造</p>	<p>目指すべき広域圏域都市構造において、甲府駅周辺は広域拠点と位置づけられ、都市機能の集約のほか、拠点にふさわしい都市空間の充実を図るものとされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中枢業務機能、高次医療、教育、文化、商業等の都市機能の集約</li> <li>・ 老朽化した既存の建物・都市基盤施設の更新</li> <li>・ 良好な景観の形成</li> <li>・ ユニバーサルデザインの推進</li> <li>・ ユビキタスネットワーク社会への対応等</li> </ul>	

第五次甲府市総合計画（平成 18 年 6 月 甲府市）

目的等	総合的かつ計画的な行政運営の指針となるものであり、時代の潮流や市民意識の変化に的確に対応しながら、まちづくりの目標を明らかにし、これを達成するための施策や事業を示すもの。「基本構想」と「実施計画」により構成され、「基本構想」では平成 27 年度（2015 年度）を目標年度としている。	
都市像	人がつどい 心がかよう 笑顔あふれるまち・甲府	
基本目標と主要な施策	基本目標	主な施策の内容
	互いに支え合い健やかに暮らせるまち 福祉・健康への支援 -	子育て支援の充実 / 保育の充実 / 高齢者の健康・生きがいづくり / 高齢者・障害者の生活支援 / 障害者の自立と社会参加の促進 / 健康づくりの推進 / 救急医療体制の充実 / 国民健康保険の充実 / 介護保険の充実 など
	夢あふれ心豊かに人と文化が輝くまち 教育・文化の振興 -	幼児教育の充実 / 義務教育内容の充実 / 安全な教育環境の整備 / 学校施設、教材・教具の整備と充実 / 小学校適正規模化の推進 / 生涯学習の推進 / 生涯スポーツの推進 / 文化・芸術活動の振興 / 男女共同参画の推進 など
	次代に引き継ぐ快適で美しい安らぎのまち - 生活・自然環境の向上 -	地球温暖化対策など自然環境の保全 / 公園や緑地の創出と保全 / 住環境の整備や市内への定住促進 / 上・下水道の充実 / 河川や水路の改修整備 / ごみ減量と資源リサイクルの推進 / 災害に強いまちづくり / 火災予防や防火体制の充実 / 地域の防犯体制の支援 / 交通安全の推進 など
	にぎわいと豊かさを創り出す風格のあるまち - 産業の振興 -	商店街の活性化や賑わいの創出 / 中小企業への支援 / 優良農地の確保 / 農家経営の自立・安定 / 地産地消の推進 / 森林の保全や治山 / 資源を生かした観光のまちづくり / 勤労者の生活支援 / 雇用対策の推進 など
	魅力と活気のあるだれもが住みたい楽しいまち - 都市基盤の整備 -	甲府駅周辺地区などにおける魅力あるまちづくり / 計画的なまちづくりの推進 / 公共交通機関の利用促進 / 幹線道路や生活道路の整備 / 情報通信技術を活用した効率的な行政運営 など
景観形成に関する施策	実施計画に位置づけられた施策のうち、景観形成に関わるものは以下のとおり。	
	総合的な景観形成の推進	都市環境の美化を推進し、公共施設的美観の向上や広告物等の景観への調和に努める
	都市景観の形成	魅力的な都市景観の誘導に努める
	自然景観の保全・形成	緑地や自然景観の保全に努める
市民参加の景観づくり	市民参加による景観形成活動を促進し、住宅地の良好な景観の確保に努める	
甲府駅周辺に関する施策	実施計画に位置づけられた施策のうち、甲府駅周辺に関わるものは以下のとおり。	
	甲府駅周辺地区の整備	甲府駅周辺の大規模空地を活用し、新たな拠点施設の整備と企業立地促進に努める (甲府駅周辺土地区画整理事業 / 甲府駅周辺拠点形成事業 / シビックコア地区形成事業)

## 甲府市都市計画マスタープラン（平成 20 年 3 月 甲府市）

目的等	甲府市の都市整備に関わる施策の体系的な指針となるもの。	
都市像	人がつどい 心がかよう 笑顔あふれるまち・甲府	
まちづくりの基本方針	<p>「成長と拡大を基調としたまちづくり」から「効率的で魅力あふれる持続可能なまちづくり」を目指すものとして、以下の4つの方針を設定している。</p> <p>人が集まり、人で賑わうまち 歩いて暮らせる便利で安心なまち 地域産業が持続的に成長・発展するまち 環境と共生する、うるおいのあるまち</p>	
将来都市構造	<p>J R 甲府駅及び舞鶴城公園を中心とした区域は県都にふさわしい高次都市機能を集積する「中心市街地ゾーン」の「中心市街地区域」として位置づけられている。</p>	<p>The map illustrates the urban structure of Maiko City, centered around JR Maiko Station and Maikokoen Park. It shows various zones: the central city street zone (pink), the urban expansion zone (yellow), the residential and business zone (green), and the mountainous zone (dark green). Transportation routes are also shown, including the Chubu Expressway, the Maiko Line, and the Maiko 2000 project. A legend at the bottom explains the symbols used for zones, nodes, and routes.</p>
甲府駅周辺（中心市街地）に関連する主な記述	土地利用の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>用途に見合った土地利用と高度利用の誘導 / 都市計画道路の整備 / 都心居住の推進 / 公共交通機関の確保</li> <li>甲府駅周辺の土地区画整理 / 駅周辺の拠点形形成 / シビックコア地区の形成</li> </ul>
	交通施設の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>こうふ都心環状線の整備 / 景観に配慮した人に優しい道路づくり / 公共交通の基盤の確保 / 利用者の利便性や快適性に配慮した駅周辺整備</li> </ul>
	みどりの方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園・緑地の改修や整備 / 庁舎、公民館等での植栽や街路樹による緑化 / アドプト制度などを活用した維持管理</li> </ul>
	河川の整備方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川改修による良好な水辺空間の形成</li> </ul>
	景観形成の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>甲府城址（舞鶴城公園）の保全・活用 / 県都にふさわしい趣ある都市景観の創出 / 歴史景観と都市景観の調和</li> <li>来訪者をもてなす魅力ある都市の顔づくり / 鉄道軸及び道路軸における良好な車窓景観の形成</li> </ul>

# 甲府市中心市街地活性化基本計画（平成 20 年 11 月 甲府市）

<p>目的等</p>	<p>「中心市街地の活性化に関する法律」に基づく「中心市街地活性化基本計画」であり、平成 20 年 10 月 8 日付で認定申請を行い、平成 20 年 11 月 11 日、内閣総理大臣に認定された。</p>
<p>計画区域</p>	<p>甲府市中心部 115ha</p>
<p>テーマ</p>	<p>自分参加でつくる生き甲斐都市こうふ</p>
<p>活性化の目標</p>	<p>買い物の場として楽しめる中心市街地の再生              歴史や文化にふれることができる中心市街地の再生              定住の場所として選ばれる中心市街地の再生</p>
<p>具体的事業への取り組み</p>	<p>上記目標に基づき、市街地の整備改善、都市福利施設の整備、まちなか居住の推進、商業の活性化、公共交通機関の利便性増進、など各事業を総合的かつ一体的に推進している。</p>
<p>主要な想定事業の位置図</p>	

## 新都市拠点整備事業

<p>目的等</p>	<p>甲府駅周辺を地方中核都市にふさわしい、利便性・安全性の高い交通拠点に改善するとともに、市民をはじめ観光で訪れる全ての人々の交流拠点として賑わいのあるまちづくりや公共施設の整備、改善及び宅地の利用増進など、健全な市街地形成を図り「魅力と活力のある誰もが住みたい楽しいまち」をつくるため、甲府駅北口を中心（一部、南口も含む）に土地区画整理事業及び拠点形成事業が行われている。</p>		
<p>施行面積</p>	<p>土地区画整理（21.9ha）／拠点形成（25.5ha）</p>		
<p>施工期間</p>	<p>土地区画整理（平成3年度～平成35年度）／拠点形成（平成15年度～平成21年度）</p>		
<p>事業内容</p>	<p>北口駅前広場</p>	<p>3,658 m<sup>2</sup>、 H20～21年度</p>	<p>駅前のターミナル機能を強化。よっちゃんお祭り広場と一体的に整備することにより、交流空間として高質化。</p>
	<p>よっちゃんお祭り広場</p>	<p>4,827 m<sup>2</sup>、 H19～21年度</p>	<p>市民や観光客の憩いの場であるとともに、多様な交流を目的とするイベントの開催も可能な都市空間を創出。</p>
	<p>甲府市歴史公園</p>	<p>6,039 m<sup>2</sup>、 H19.3完成</p>	<p>甲府城の山手門や山手渡櫓門を復元し、歴史的景観を後世に伝え、お祭り広場や舞鶴城公園との回遊性を向上。</p>
	<p>中央消防署</p>	<p>1,633 m<sup>2</sup> H19.2完成</p>	<p>中心部の防災機能を強化し、安全で安心な生活環境を確保。</p>
	<p>自転車駐輪場</p>	<p>784 m<sup>2</sup> H19.8完成</p>	<p>駅機能の利便性を向上のための、1,020台収容、鉄骨造2階建の駐輪場。</p>
	<p>甲府市藤村記念館</p>	<p>189 m<sup>2</sup> H19～21年度</p>	<p>国指定重要文化財である旧睦沢学校を武田神社境内より甲府駅北口に移築。</p>
	<p>甲州夢小路事業</p>	<p>3,224 m<sup>2</sup> H24年度完成</p>	<p>駅前広場、多目的広場、甲府市歴史公園と連携を図り快適性や偕楽性を附加するため、民間事業者による歴史観光型集客施設を創設。</p>
	<p>甲府駅周辺土地区画整理事業</p>	<p>21.9ha H3～35年度</p>	<p>甲府駅周辺の大規模空地（鉄道跡地等）を活用した土地基盤整備。</p>
	<p>甲府地方合同庁舎</p>	<p>H24.1完成予定</p>	<p>国の行政機関のうち9官署を集積し、利用者の利便性の向上と他の施設との機能連携による拠点性の向上。</p>
	<p>NHK甲府放送局</p>	<p>H23年度完成予定</p>	<p>地域の人達に親しまれる、地域文化の創造と情報発信の拠点となる放送局を目指す。</p>
	<p>新県立図書館</p>	<p>H24年度完成予定</p>	<p>新県立図書館、高度情報拠点</p>
<p>整備のイメージ</p>			

(3) 景観形成に関する計画

美しい県土づくりガイドライン (平成21年3月 山梨県)

目的等	県、各市町村、県民、事業者、NPOがそれぞれの立場で景観づくりを行っていく上で、基本となる考えを共有し、地域の個性や特性に応じた取り組みを推進するための手引書
対象範囲	県全域における、林野、農地、河川、道路、都市に関わる全てを対象
ガイドラインの構成	第1章 美しい県土づくりガイドラインとは 第2章 県土における景観の特性と課題 第3章 景観形成の基本方針 第4章 景観形成推進に向けて 第5章 公共事業に関する景観形成 第6章 景観計画策定の手引き
景観形成の基本理念	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ かけがえのない景観を保全・継承する</li> <li>・ 快適で魅力ある景観を創造する</li> <li>・ 郷土の美しい景観を見つめる感性を育む</li> </ul>
景観形成の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歴史の風景を活かし、やまなしの文化を育てる</li> <li>・ 盆地地形を里の景色として大切にする</li> <li>・ 大自然のパノラマを活かし、もてなしの場をつくる</li> <li>・ 譲り合うところで、暮らしやすいまちをつくる</li> <li>・ 生活や風土に根ざした身近な景観を誇りにする</li> <li>・ 住む人自らが景観づくりの主役となる</li> </ul>
甲府駅周辺の位置づけ	<p>甲府駅周辺が位置する峡中地域は「県土の中心にふさわしい活力あるもてなしの景観」を形成するものとされ、このなかで甲府駅周辺に関するは以下のように位置づけられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅周辺等の屋外広告物に対する設置位置や形態意匠の景観誘導により、<u>風格と品のあるもてなしの駅前景観を形成する</u></li> <li>・ 低層部の商店の連続性に配慮した街並み形成や、デザイン看板の設置、歩道の修景等により、<u>にぎわい創出に寄与する中心商業地の景観を形成する</u></li> <li>・ 武田家ゆかりの歴史文化資源を保全し、観光資源としての活用を推進するとともに、隣接する建築物等の適切な景観誘導を図る</li> </ul> <p style="text-align: center;">峡中地域の景観形成方針図</p>

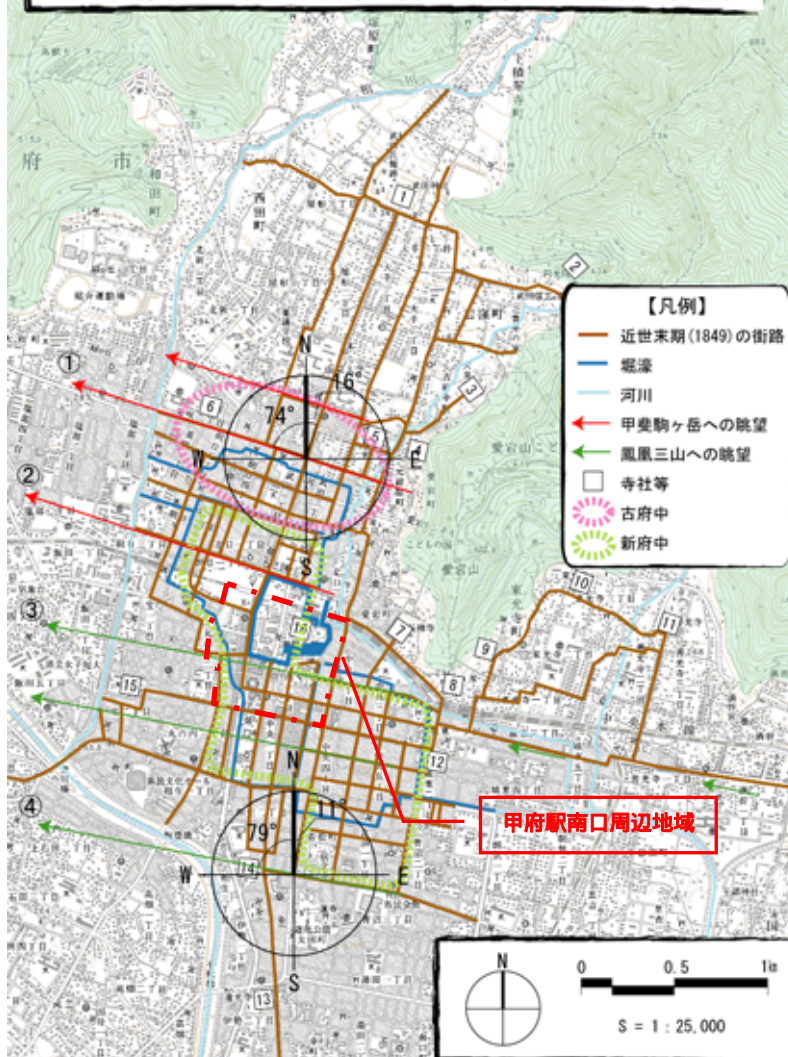
# 甲府市景観形成基本計画（平成 20 年 2 月 甲府市）

<p>目的等</p>	<p>甲府市における景観形成の総合的な指針であり、守るべき景観や創造すべき景観の基本的な方向性（ビジョン）を示すとともに、その実現に向けた方針を示すもの。</p>													
<p>対象範囲</p>	<p>甲府市全域</p>													
<p>基本的な考え方</p>	<p>こうふらしいい うつくしき ふるさと の景観づくり</p>													
<p>景観形成基本方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・盆地特有の眺望景観や豊かな自然景観を守り、後世に残す</li> <li>・甲府独特の歴史景観と都市景観を創り、共に活かす</li> <li>・来訪者をもてなす観光景観を守り、創る</li> <li>・誇れる地域固有の日常景観を守り、創る</li> </ul> <div style="text-align: center;"> </div>													
<p>都心ゾーンの景観形成基本方針</p>	<p>甲府駅周辺は「都心ゾーン」として位置づけられており、『甲府を象徴する「風格」と「華」のある景観形成』を誘導していくものとされている。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;">歴史景観と都市景観の調和・共存</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山梨県庁舎別館（旧館）など歴史的建造物の保全</li> <li>・歴史的建造物に隣接する建築物の景観誘導</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">甲府駅周辺の先導的・重点的景観形成</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・甲府城跡（舞鶴城公園）及び歴史公園周辺の景観誘導</li> <li>・ゾーン内の公園・広場の適切な維持管理</li> <li>・甲府駅北口地区の新しい顔となる象徴的な景観誘導</li> <li>・屋外広告物に対する景観誘導</li> <li>・四季を感じるみどりや花の設置</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">印象的な眺望景観の確保</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山並みの眺望保全のための建築物（高さ、屋根等）屋外広告物等に対する景観誘導</li> <li>・甲府城跡の眺望軸線上にある建築物、屋外広告物等に対する景観誘導</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">景観軸である平和通りの風格ある景観形成</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・街路樹の継続的な保全・維持管理</li> <li>・官公庁施設及びその周辺における緑化等、先導的・印象的な景観整備</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">中心商業地の賑わい創出に寄与する景観形成</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・路面舗装の修景や沿道の緑化等歩行空間の景観整備</li> <li>・休息できるポケットパーク等の確保</li> <li>・商店街の特徴あるデザイン看板等の設置誘導</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">景観軸であるJR中央本線甲府駅及び鉄道沿線における来訪者に配慮した景観形成</td> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅ホームの印象深く、気品のある修景整備</li> <li>・車窓からの眺望を阻害する建築物、工作物、屋外広告物等の景観誘導</li> </ul> </td> </tr> </table>		歴史景観と都市景観の調和・共存	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山梨県庁舎別館（旧館）など歴史的建造物の保全</li> <li>・歴史的建造物に隣接する建築物の景観誘導</li> </ul>	甲府駅周辺の先導的・重点的景観形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・甲府城跡（舞鶴城公園）及び歴史公園周辺の景観誘導</li> <li>・ゾーン内の公園・広場の適切な維持管理</li> <li>・甲府駅北口地区の新しい顔となる象徴的な景観誘導</li> <li>・屋外広告物に対する景観誘導</li> <li>・四季を感じるみどりや花の設置</li> </ul>	印象的な眺望景観の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山並みの眺望保全のための建築物（高さ、屋根等）屋外広告物等に対する景観誘導</li> <li>・甲府城跡の眺望軸線上にある建築物、屋外広告物等に対する景観誘導</li> </ul>	景観軸である平和通りの風格ある景観形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街路樹の継続的な保全・維持管理</li> <li>・官公庁施設及びその周辺における緑化等、先導的・印象的な景観整備</li> </ul>	中心商業地の賑わい創出に寄与する景観形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路面舗装の修景や沿道の緑化等歩行空間の景観整備</li> <li>・休息できるポケットパーク等の確保</li> <li>・商店街の特徴あるデザイン看板等の設置誘導</li> </ul>	景観軸であるJR中央本線甲府駅及び鉄道沿線における来訪者に配慮した景観形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅ホームの印象深く、気品のある修景整備</li> <li>・車窓からの眺望を阻害する建築物、工作物、屋外広告物等の景観誘導</li> </ul>
歴史景観と都市景観の調和・共存	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山梨県庁舎別館（旧館）など歴史的建造物の保全</li> <li>・歴史的建造物に隣接する建築物の景観誘導</li> </ul>													
甲府駅周辺の先導的・重点的景観形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・甲府城跡（舞鶴城公園）及び歴史公園周辺の景観誘導</li> <li>・ゾーン内の公園・広場の適切な維持管理</li> <li>・甲府駅北口地区の新しい顔となる象徴的な景観誘導</li> <li>・屋外広告物に対する景観誘導</li> <li>・四季を感じるみどりや花の設置</li> </ul>													
印象的な眺望景観の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山並みの眺望保全のための建築物（高さ、屋根等）屋外広告物等に対する景観誘導</li> <li>・甲府城跡の眺望軸線上にある建築物、屋外広告物等に対する景観誘導</li> </ul>													
景観軸である平和通りの風格ある景観形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街路樹の継続的な保全・維持管理</li> <li>・官公庁施設及びその周辺における緑化等、先導的・印象的な景観整備</li> </ul>													
中心商業地の賑わい創出に寄与する景観形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路面舗装の修景や沿道の緑化等歩行空間の景観整備</li> <li>・休息できるポケットパーク等の確保</li> <li>・商店街の特徴あるデザイン看板等の設置誘導</li> </ul>													
景観軸であるJR中央本線甲府駅及び鉄道沿線における来訪者に配慮した景観形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅ホームの印象深く、気品のある修景整備</li> <li>・車窓からの眺望を阻害する建築物、工作物、屋外広告物等の景観誘導</li> </ul>													

## 歴史公園及び舞鶴城公園と甲府五山等の連携の指針（平成16年4月 甲府市）

目的等	甲府の歴史を代表する甲府城と信玄が制定した甲府五山周辺を調査し、歴史公園との連携を図りながら、歴史を感じられるまちづくりの実現に向けた整備や仕組みの方向性を示したもの。市民と行政が一体となって甲府の歴史を考え、現代の便利な生活を維持しつつ、真の豊かさが実感できるまちづくりを進めていくための指針。
基本コンセプト	歴史公園、甲府城、甲府五山等の連携は、“歩くこと”を基本とした歩行ネットワークで連結することとし、以下の基本コンセプトを設定している。 「快適で趣のある歩行空間 - 甲斐の歴史回廊」
連携の方針	歩行軸による連携（南北の歩行軸、東西の歩行軸） 自然環境と歴史資源の連携 都市景観と歴史資源の連携
歩行軸のデザイン指針	歩者共存道路（車のスピードコントロール） トータルデザインコンセプト （デザインを統一する、場所に応じてデザインを変える）
歴史を感じるまちの演出	道路・広場・路地の演出 緑化による演出 建築物による演出

近世末期(1849年)の町割と現代の街路から見た景観軸





(4) 観光振興に関する計画

甲府市観光振興基本計画(平成21年3月 甲府市)

目的等	甲府市総合計画で目指す都市像「人がつどい 心がかよう 笑顔あふれるまち・甲府」と基本目標「にぎわいと豊かさを創りだす風格のあるまち」の実現に向け、総合的な観光振興策を示すもの。		
計画のキャッチフレーズ	<p style="text-align: center;"><b>自然と調和した都市観光</b>          甲斐の府中490年の歴史          人がつどい、まちを巡り、滞在する新たな観光を目指して</p>		
基本方針	ようこそ甲府へ ～地域資源を活用したもてなしのまちづくり～	地域資源の検証と活用 おもてなしの配慮 外国人旅行者への対応	
	甲府っていいよね! ～自然とまちを巡る、新たな滞在型観光の推進～	滞在型観光の推進 コンベンション誘致の推進	
甲府駅周辺や景観に関連する観光振興施策・事業	観光資源の魅力の発掘	甲府ブランドの確立	「武田信玄」、「宝石の街甲府」など地域固有の観光資源の活用
		都市学習の場の創出	新市庁舎や藤村記念館などにまちの歴史や地域資源を学べる場の設置
	観光資源の整備と活用	自然景観・歴史景観の保全	景観条例に基づき、自然景観・歴史景観の保全に関する取り組みの推進
		歴史資源の時代考証を踏まえた活用	藤村記念館、歴史公園、舞鶴城公園などの歴史的背景を踏まえた活用
		甲府駅周辺の整備	甲州夢小路の設置や藤村記念館の移築、南北通路の設置、多目的広場の整備など甲府駅周辺の拠点整備
	快適で安全に過ごせる環境整備	まちなかの緑化推進	フラワーポットの設置など花と緑による都市景観づくり
		まちのユニバーサルデザイン化への取り組み推進	案内表記の統一したピクトグラム化、観光施設のユニバーサルデザイン化など
	交通手段の充実	武田信玄公像の御身拭い	甲府駅南口の信玄公像の年1回の清掃作業(年末の風物詩)
		「レトボン」の活用	中心市街地の無料回遊バス「レトボン」の観光への活用検討
		公共交通の利便性の向上	観光地を結ぶ交通網、シャトルバスの導入など
	お祭り、イベント企画の充実	駐車場整備の検討および要望	観光施設および甲府駅周辺における駐車場整備の検討および要望
		新イベントの企画検討	甲府駅周辺整備に合わせて、歴史公園、多目的広場などを活用した新イベントの企画検討
平成25年の国民文化祭に向けたイベント企画の検討		国民文化祭に向け、地域資源を活用したイベントの企画検討	
	「信玄公祭り」の企画充実	観光客がより一層楽しめるお祭りの企画検討	

## 2 - 2 . 地域の成り立ちと現況

### ( 1 ) まちの歴史と景観

#### 甲府の成り立ち

##### 中世

甲府は中世、武田氏によってつくられた城下町で、永正 16 年(1519 年)に、武田信虎が石和から躑躅ヶ崎(甲府駅北側)に館を移し、ここを拠点として家臣団を周辺に町割りして城下町を創設したのが始まりである。以来、「甲府」- 甲斐府中の略 - の名が示すように、名実ともに甲府は甲斐国の政治、経済、文化の中心として発展してきた。

##### 近世

武田氏の滅亡後、中世武田城下町の南方に甲府城が築城され、近世甲府城下町が新たに形成された。近世甲府城下町では柳沢吉保が甲府城主となった宝永元年(1704 年)以降に大規模な都市整備が行われ、現在の甲府市街地の基礎が形成された。甲府駅南口周辺地域はこの範囲に含まれる。

##### 明治以降

明治 6 年には山梨県令藤村紫朗が甲府の町の改革を断行し、橋町にあった刑務所を深町に移し、ついでに城内外の堀を埋め立て、錦・桜町、紅梅、富士見町などの新しい町を作った。

明治 22 年には、旧甲府総町(錦町外 37 町)上府中総町(22 町)に甲府飯沼・稲門村を合併し市制を施行し、以来、4 次にかけて次々に合併し、市域を拡大してきた。

なお、昭和 20 年 7 月の甲府空襲は市域の 74% を焦土と化し、甲府の古き良き時代の面影は失われてしまったが、終戦直後には戦災復興局が設置され、市民一丸となって復興が進められた。

#### 甲府の町割と景観

##### 中世戦国期のランドスケープ

中世戦国期に形成されたとされる中世武田城下町は、相川扇状地の扇頂部に配置された躑躅ヶ崎館跡から、ほぼ二町間隔に 4 本の南北街路が等高線に直交するように扇状地裾野に向かって伸びている。これに三の堀内外の 3 本の東西街路が 90 度で交差し、この付近に町屋地区が形成されている。近世に形成された二の堀内の武家地においても、中世武田城下町の軸線が街区構成に採用されている。

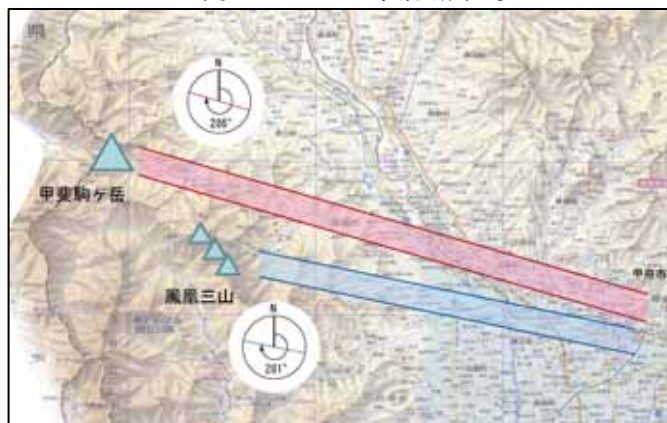
##### 近世江戸期のランドスケープ

近世甲府城下町は、三の堀内に明確な格子状の街路形態を持つ。甲府城の前身である一条小山の南側一帯にあった広範囲な条里型地割がそのベースとなったとされる。また、甲州街道を軸とした独自の町割り形成の可能性もある。

##### 市街地の 2 つの景観軸

中世武田城下町と近世甲府城下町における東西街路の僅か 5° の角度差が生み出す 2 つの景観軸によって、現在の甲府市街地は構成されている。

南アルプスと甲府城下町



## 古地図に見る対象地域の変遷

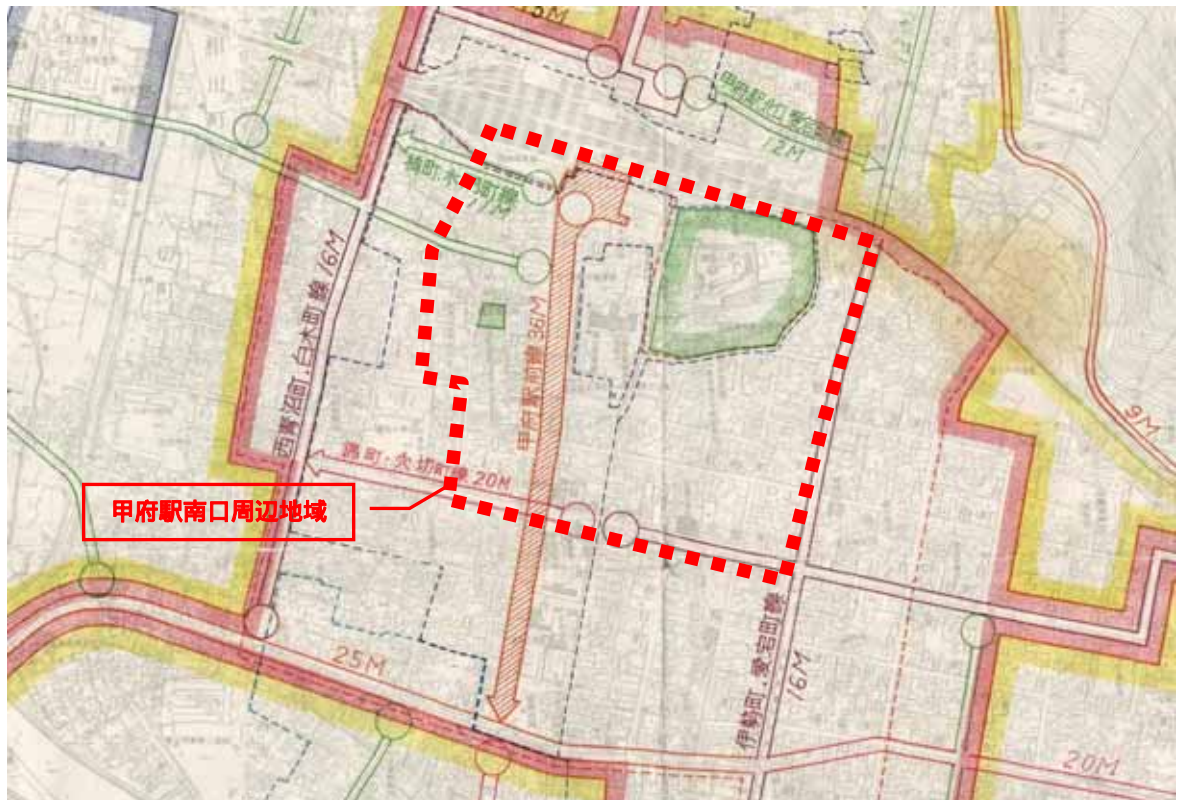
嘉永 2 年 (1849 年)の「甲府城及び甲府絵図」と昭和 34 年(1959 年)の「甲府都市計画図」を見ると、甲府駅南口周辺地域は甲府城とその周辺に広がる城下町であったことが分かる。

また、鉄道の整備により甲府城が南北に分断されたこと、道路の整備などにより堀がなくなっていたことなどが見てとれる。

1849年「甲府城及び甲府絵図」



1959年「甲府市都市計画図」



## 写真で見る甲府駅南口駅前広場の変遷

甲府駅は、明治 36 年(1903 年)に開業した。昭和 30 年代はじめには県都の玄関としての形が整い、昭和 61 年の「かいじ国体」の開催にあわせ昭和 61 年に現在の駅前広場が完成した。



1 . 明治 36 年 6 月、甲府駅の開業。巨大な祝賀アーチには、初代甲府市長・若尾逸平の「祝開通」の書が掲げられている。



2 . 敗戦後、運行を再開した山梨交通電車。



3 . 昭和 33 年の甲府駅上空からの眺め。戦後 13 年を経過し、県都の玄関としての形が整った。



4 . 昭和 35 年、甲府駅前ロータリーに甲府市の名産水晶をイメージした大型の噴水が完成。



5 . 昭和 61 年の「かいじ国体」の開催にあわせ昭和 60 年 10 月、現在の甲府駅ビルが完成。

## 対象地域の主な歴史的な建造物

甲府駅南口周辺地域においては、戦災により古き良き時代の面影の多くは失われてしまっているが、そのようななか地区の貴重な歴史的な資産としては甲府城、山梨県庁の議事堂や別館がある。

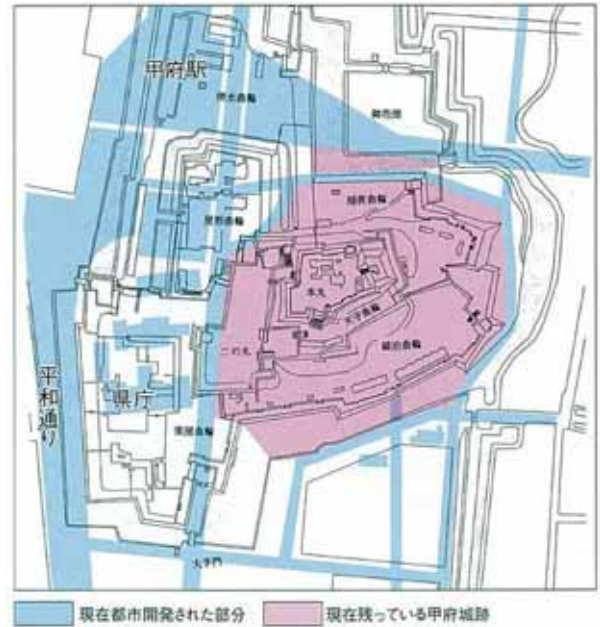
### 甲府城（舞鶴城公園）

豊臣秀吉の天下統一後、甥の羽柴秀勝と腹心の部下である加藤光泰らによって築城が始められ、浅野長政・幸長父子の手により完成した。慶長5年(1600年)の関ヶ原の戦い以降は再び徳川家の城となり、幕末まで城は存続した。

明治時代になると廃城となり、明治10年頃には城内の主な建物は取り壊され、勸業試験場として利用が始まり、明治30年には、中央線敷設に伴い屋形曲輪、清水曲輪の解体が決定され、甲府停車場（今の甲府駅）の建設地となった。明治37年に本丸周辺を舞鶴公園として開放、昭和5年には、甲府中学校の移転に伴い、県庁舎や県会議事堂が楽屋曲輪跡に移り、同時に西側、南側の堀は完全に埋められた。

平成4年以降発掘調査等が行われ、稲荷櫓や山手渡櫓門等が復元された。

甲府城の縄張りとの現在の状態



### 山梨県議会議事堂・委員会室棟、山梨県庁舎別館

山梨県議会議事堂は、昭和3年に建築された鉄筋コンクリート造の建物で、地上2階、地下1階、延床面積は4,167㎡である。昭和37年に東側部分の委員会室棟を増築している。

山梨県庁舎別館は、昭和5年に建築された鉄筋コンクリート造の建物で、地上4階、地下1階、延床面積は6,589㎡である。昭和28年に4階部分を増築している。

ともに県教育委員会編集の「山梨県の近代化遺産」において、質・規模・意匠のいずれの面からも貴重な遺構として報告されており、平成21年12月24日に山梨県指定文化財となった。



甲府城（舞鶴城公園）の概要

都市計画	公園	都市公園「舞鶴城公園」に指定されている。
	用途地域	舞鶴城公園は風致地区（5.5ha） 公園の周辺は商業地域（600/80、400/80）
整備状況	面積	6.1ha
	公園種別	特殊公園（風致公園）
	主要施設	石垣・堀・稲荷櫓・武徳殿・日本庭園・自由広場・公園駐車場(大型バス身障者用; 平常時閉鎖)・その他広場・曲輪・公園管理事務所 等
利用特性	利用者特性	年間利用者数：約 25 万人（資料：山梨県都市計画課） 県外からの観光利用が多く、これら利用者は滞在時間の短い典型的な立ち寄り型の利用となっている（資料：H19 舞鶴城公園利用実態調査）
	定期イベント	信玄公祭り(春)、甲府えびす講祭り(秋)
	甲府城の歴史	<p>1590(天正 18) 羽柴秀勝（豊臣秀吉の甥）が甲府城主となり、部下の加藤光泰らとともに築城を開始</p> <p>1593(文禄 2) 浅野長政・幸長が城主となり、城が完成</p> <p>1664(寛文 4) 半世紀ぶりの大修理</p> <p>1706(宝永 3) 城内の曲輪修復や殿舎の造営が行われる</p> <p>1727(享保 12) 甲府城大火（本丸御殿、銅門などを焼失）</p> <p>1868(慶応 4) 明治維新、板垣退助らが無血入城</p> <p>1873(明治 6) 廃城、内城のみが残される</p> <p>1876(明治 9) 内城全体に勸業試験場設置</p> <p>1877(明治 10) 鍛冶曲輪跡に葡萄酒醸造所を設置</p> <p>1897(明治 30) 清水曲輪跡に中央線甲府停車場を設置</p> <p>1900(明治 33) 楽屋曲輪跡に県立甲府中学校を建設</p> <p>1904(明治 37) 甲府城跡を舞鶴公園として開放</p> <p>1906(明治 39) 城内にて 1 府 9 県連合共進会を開催、遊亀橋架橋、稲荷曲輪跡に機山館を新築</p> <p>1922(大正 11) 本丸に謝恩碑建設</p> <p>1926(大正 15) 内城石垣の一部（楽屋曲輪）を解体、跡地に県庁を新築</p> <p>1953(昭和 28) 鍛冶曲輪跡に恩賜林記念館を新築</p> <p>1962(昭和 37) 公園として供用開始</p> <p>1968(昭和 43) 県指定史跡（史跡名称甲府城跡）となる</p> <p>1990(平成 2) 舞鶴城公園整備事業に着手</p> <p>2004(平成 16) 稲荷櫓完成</p> <p>2007(平成 19) 甲府市歴史公園・山手御門完成</p>

（資料：甲府市ホームページ）



## (2) 対象地域の現況

### 人口の推移

甲府市の中心市街地の人口は、平成20年4月1日現在で5,804人となっており、市全体人口に占める割合は3.0%となっている。

その推移を見ると、平成18年までは減少していたが、平成19年以降はまちなか居住再生事業等に伴うマンションの立地などにより増加に転じている。

老年人口比率は平成20年4月1日現在で31.5%となっており、市全体の老年人口比率（平成17年国勢調査）22.2%と比べても、かなり高齢化が進行している状況がうかがえる。

対象地域と中心市街地との関係



中心市街地の人口の推移



中心市街地の年齢層別人口の推移



### 商業の動向

平成16年商業統計調査によると中心市街地の小売業の商店数442店で平成9年の643店に比べて3割以上減少し、これにあわせて年間商品販売額なども大きく減少している。

市全体に占める中心市街地のシェアも変化しており、平成9年から平成16年にかけて、商店数は20.9%から16.6%へ、年間商品販売額は25.8%から18.3%へとシェアを低下させている。

小売業商店数の推移



小売業の年間商品販売額の推移



## 歩行者通行量

人口の減少や商業活動の低下等にあわせて、中心市街地の歩行者数も減少傾向にあったが、平成 21 年から 22 年にかけては増加に転じている。

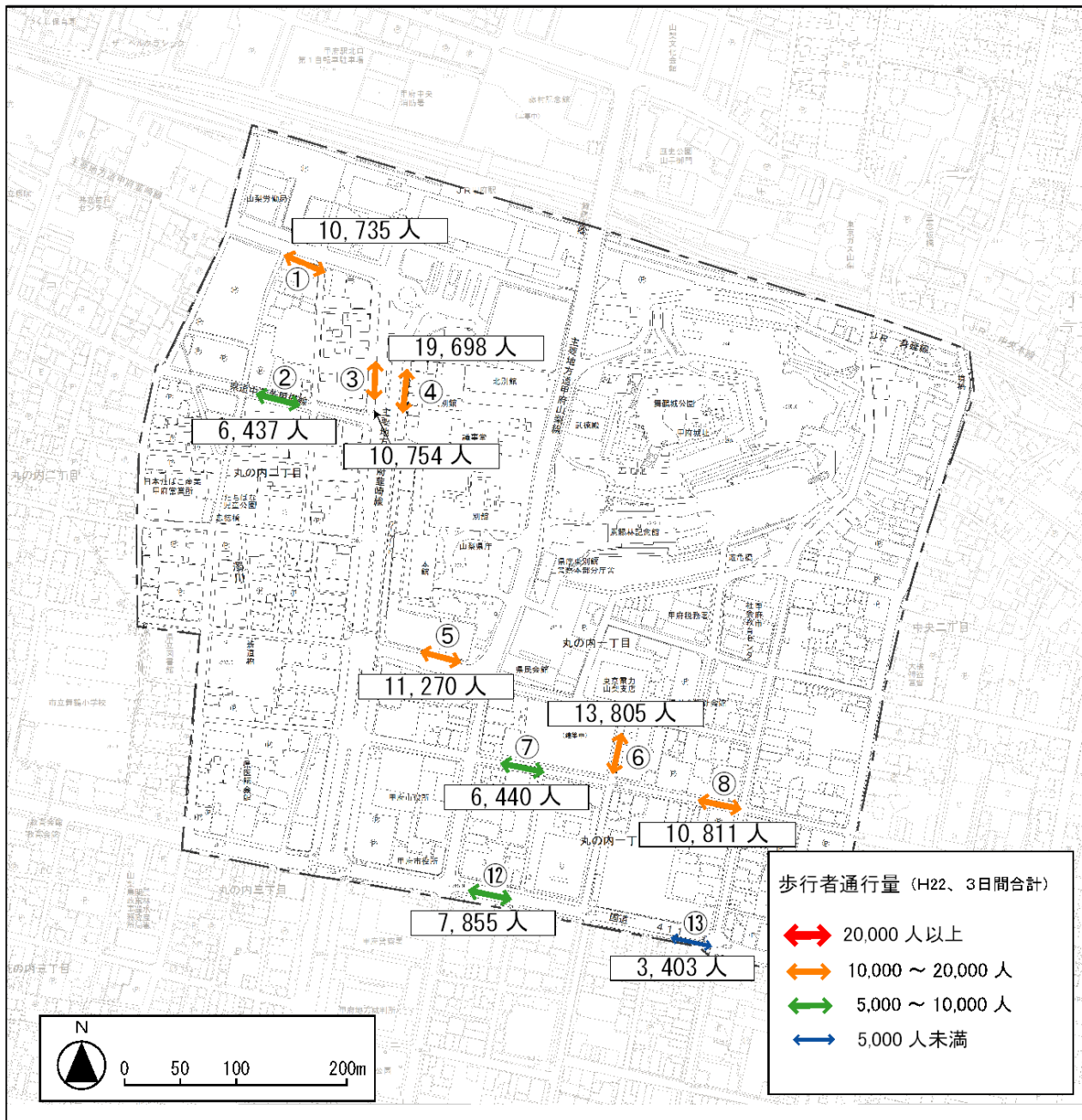
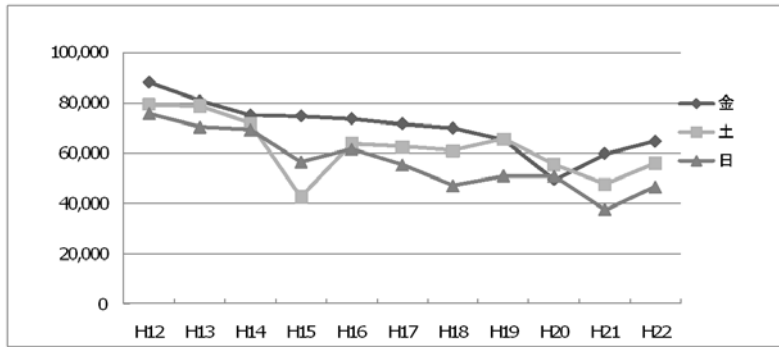
この増加は、紅梅地区再開発事業の完成、オリオン通りの改装及びB1グランプリをとった「甲府鳥もつ煮」の効果によるものと推察される。

平成 22 年で、最も歩行者数（金・土・日の3日間の合計値）が多いのは、平和通り東側（水琴酒堂前）で約 20 千人、次いで kokori オリオン通り口南の約 14 千人となっている。

歩行者交通量図（H22、金土日の3日間合計）(H22年度甲府市中心商店街歩行者交通量調査結果報告書より)

## 中心商店街の曜日別推移

(H22年度甲府市中心商店街歩行者交通量調査結果報告書より)





## 土地・建物の状況

対象地域には、商業用地が広く分布しており、まとまった商業集積は甲府駅周辺と南東部の岡島周辺に見られる。

平和通り東側沿道は県庁、市役所などの官公庁施設が集積している。平和通り西側は、区画道路や公園が整っているが、住宅、商業、業務施設等が混在し、大規模な青空駐車場などの低利用地も比較的多く見られる。

甲府城(舞鶴城公園)南側は住宅、商業、業務施設のほか、税務署、社会教育センターなど官公庁施設が分布している。

また、中心市街地におけるマンションの立地状況は右表のとおりであるが、10階階以上の高層マンションの立地が進んでいる。

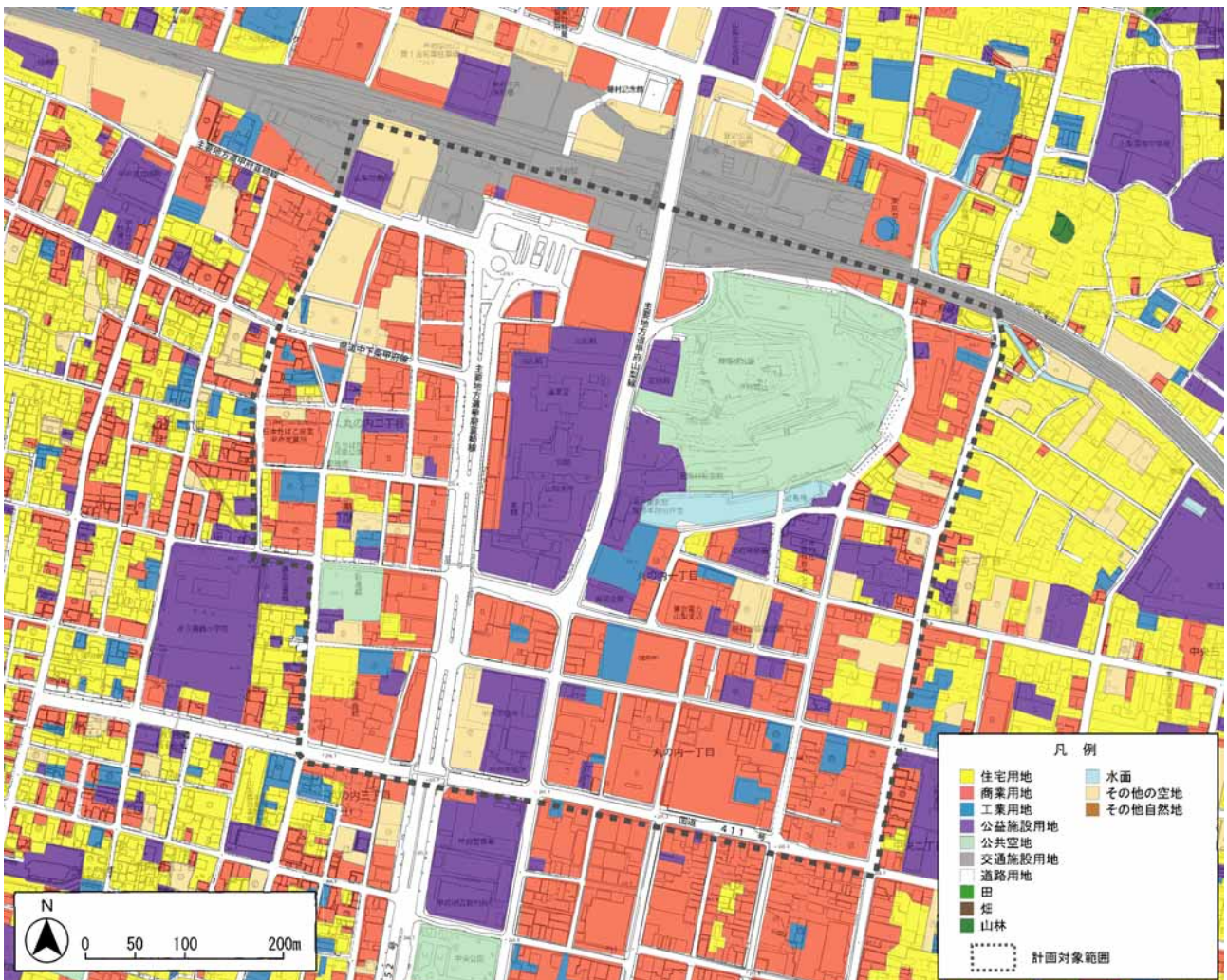
中心市街地におけるマンション立地状況  
(甲府市中心市街地活性化基本計画より)

(単位:戸、㎡、階、階、人)

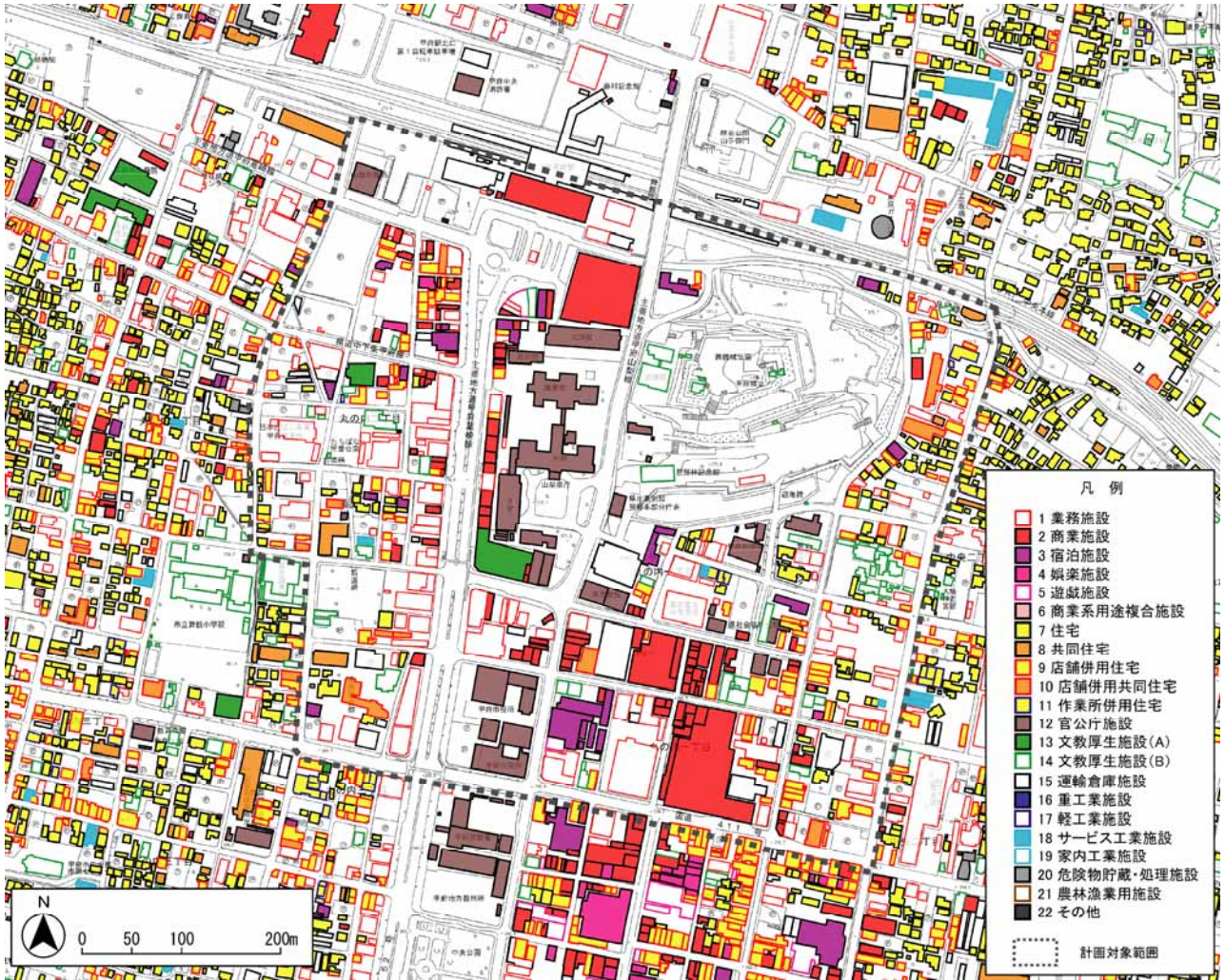
完成年度	戸数	延べ面積	敷地面積	階数	地階	入居者予測数
17	42	2,770	956	11	0	87
17	45	7,160	992	12	1	93
17	56	6,054	1,138	14	1	115
18	107	13,948	2,756	15	1	220
19	64	20,189	3,283	25	0	132
20	95	8,206	1,938	13	0	196

注) 入居者予測数については、平成17年国勢調査における1世帯当たり人員2.06人を戸数に乗じた値としている

土地利用現況図(平成19年度甲府都市計画基礎調査より作成)



建物用途別現況図（平成19年度甲府都市計画基礎調査より作成）



## 土地利用規制の状況

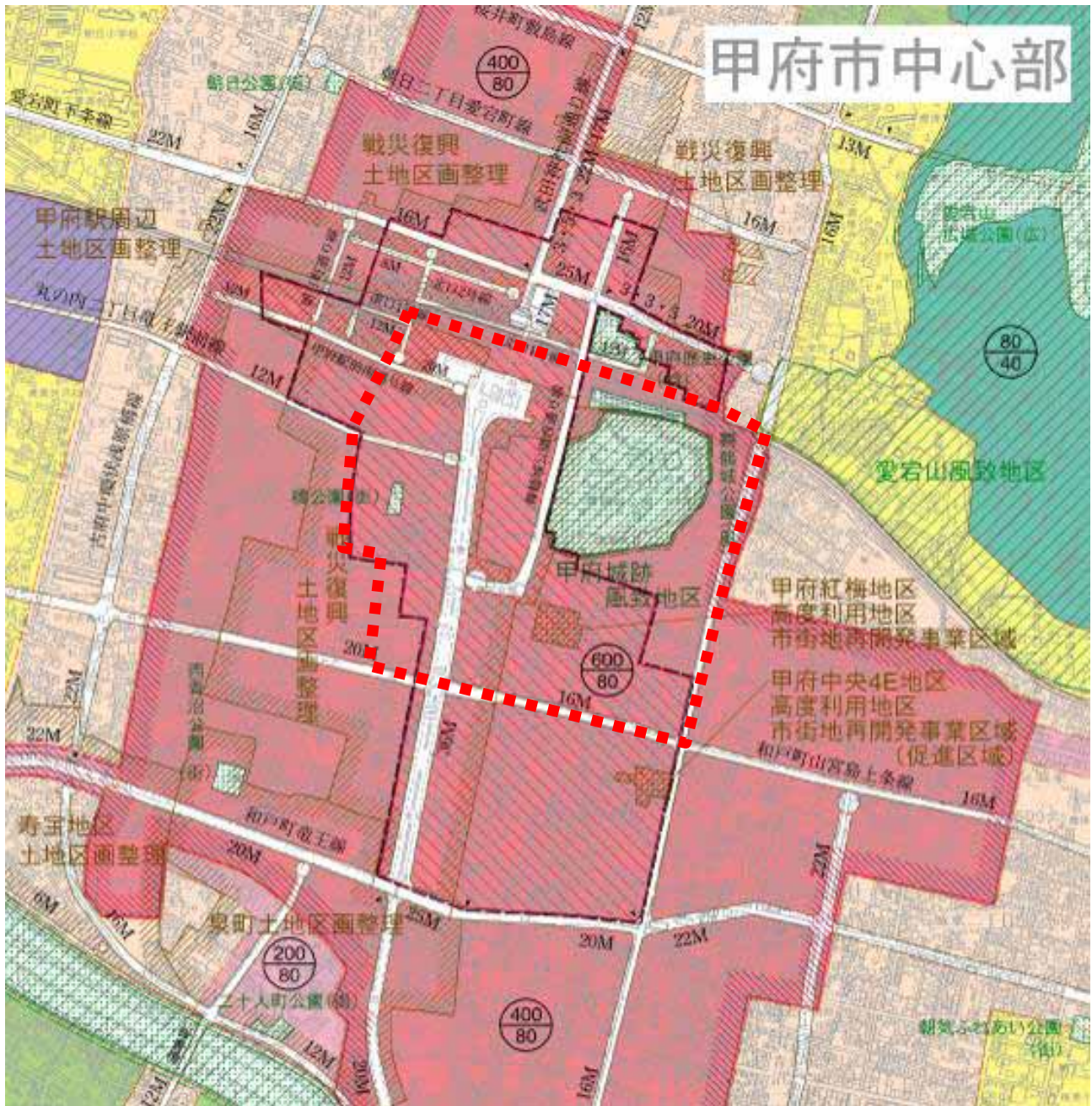
対象地域は、全域が商業地域に指定されている。

駅周辺から平和通り沿道及び城東通り沿道にかけてのエリアは防火地域に指定され、容積率は他のエリア（400%）よりも高い600%となっている。

舞鶴城公園は風致公園として都市計画決定されており、あわせて風致地区が指定されている。

平和通り、舞鶴通り、城東通りなどの主要道路は都市計画道路として都市計画決定されている。

都市計画図



## 甲府駅南口周辺の駐輪実態

平成 21 年 12 月に実施された実態調査によると、甲府駅南口周辺の駐輪需要は最大で約 1,600 台となっている。

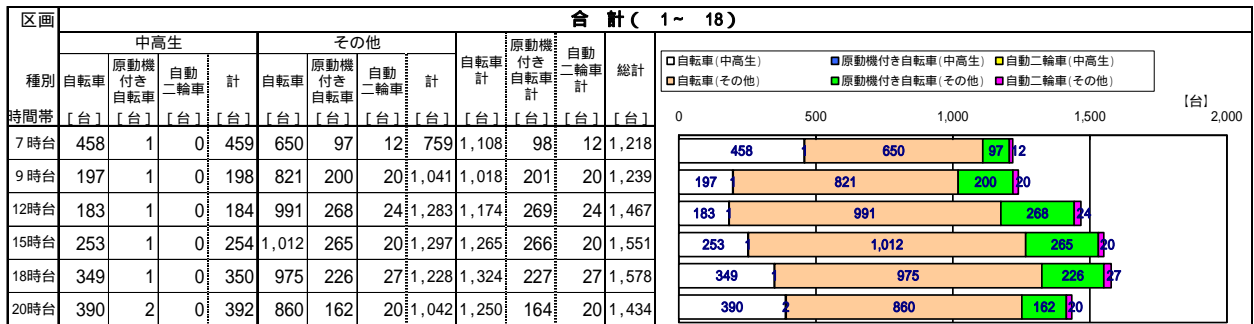
これに対して、南口周辺の駐輪場の収容可能台数は約 780 台であり、収容台数を大幅に上回る需要があることが分かる。

駐輪場で収容しきれない自転車やバイクは、必然的に歩道上などに放置されることとなり、歩行を障害、景観を阻害する要因ともなっている。

山梨県や甲府市では、放置自転車対策として、警告書貼付や撤去を定期的実施している。



駐輪状況 (H21 実態調査より)



### 甲府駅南口周辺の駐輪場の収容可能台数

名称	収容可能台数	管理者
駅前広場駐輪場	300台	山梨県
跨線橋東市営駐輪場	325台	甲府市
舞鶴跨線橋下駐輪場	150台	甲府市
合計(東西)	775台	

### 道路管理者としての放置自転車の撤去の実績 (県道甲府葦崎線の甲府駅前～スクラブル交差点)

年度	実施回数	警告書(ビラ)	撤去台数	備考
H8	2	1,336	142	
H9	1	1,400	198	返還1台
H9	1	400	90	酒折駅前
H10	1		186	
H11	1	630	123	
H12	2	1,300	366	返還23台
H13	3	1,040	268	
H14	2	1,100	294	
H15	3	900	189	
H16	4	2,200	578	
H17	4	1,200	344	
H18	3	500	243	返還8台
H19	4	1,000	391	返還57台
H20	4	2,585	277	返還40台
H21	4	2,500	157	返還11台

## 2 - 3 . 公共施設の現況

本計画で対象としている公共施設に関して、景観の視点から、現況を把握、整理した。

### ( 1 ) 景観構成別の現況

対象地域内の主要な道路及び広場について、以下の項目毎に現況を把握した。

歩道の舗装	ストリートファニチャ（線状に設置されているもの）
ストリートファニチャ（単独で設置されているもの）	街路樹（並木）
案内板	照明（夜間景観）

この結果、路線や区間ごとに様々なデザイン、色のものがあり、地域全体としての統一感があまり感じられないことが明らかとなった。また、老朽化により機能が低下し、景観的に好ましくなく、更新が必要と考えられるものも見られた。

#### 歩道の舗装

歩道の舗装は、路線、区間によって様々な色、パターン、素材が使われている。同一路線であっても通りや交差点を隔てて舗装が異なるところも見られる。

#### ストリートファニチャ（線状に設置されているもの）

車止め、照明灯、ベンチなど、道路に線状に設置されているものについて把握した。

歩道の舗装ほどではないが、路線、区間によって様々なものが設置されている。

照明灯は全般的に茶系が多く、また視線に入りづらいこともあり、形状が異なってもあまり違和感がないが、車止めは色、形状、素材に様々なものがあり、舗装と同様に統一感を低下させる要因となっている。

#### ストリートファニチャ（単独で設置されているもの）

モニュメントや大規模な照明灯など単独で設置されているものについて把握した。

大きなモニュメントは駅前広場や平和通りで設されているが、全般的に設置年次の古いものが多く、老朽化が目立っている。

商店街では彫刻などが設置されているが周辺環境と必ずしもあっていないものも見受けられる。

#### 街路樹（並木）

街路樹については、平和通りや駅前広場のケヤキが印象的であるが、シラカシ、ハナミズキ、ソメイヨシノなどが植えられている。

#### 案内板

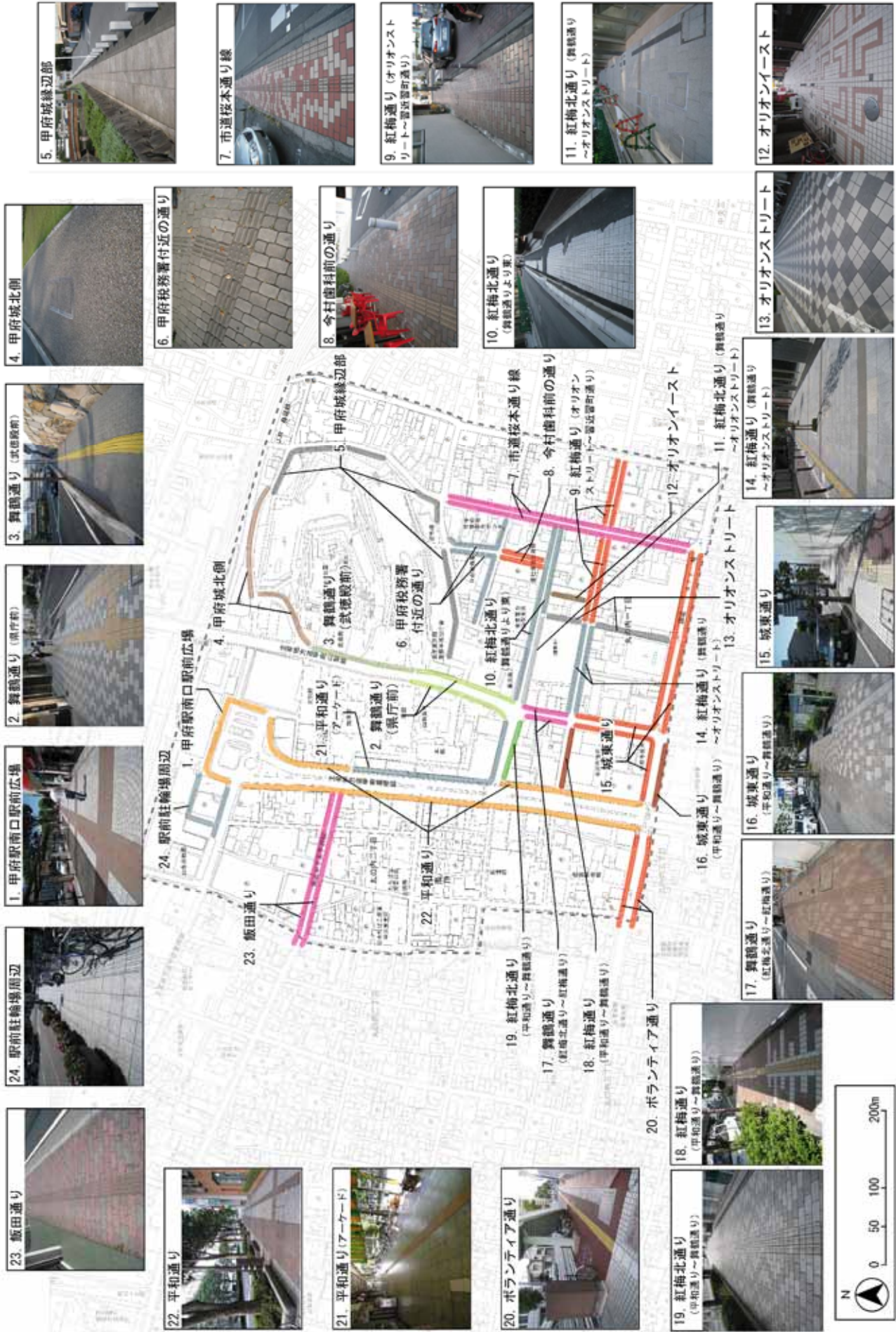
案内板は、南口駅前広場、平和通り、城東通りで多く設置されているが、それぞれ形状、色などがばらばらで統一感が感じられない。

特に南口駅前広場には数多くの案内板が設置されているが、同様のものが重複して設置されている状況も見られており、景観を乱す要因ともなっており、整理が必要と考えられる。

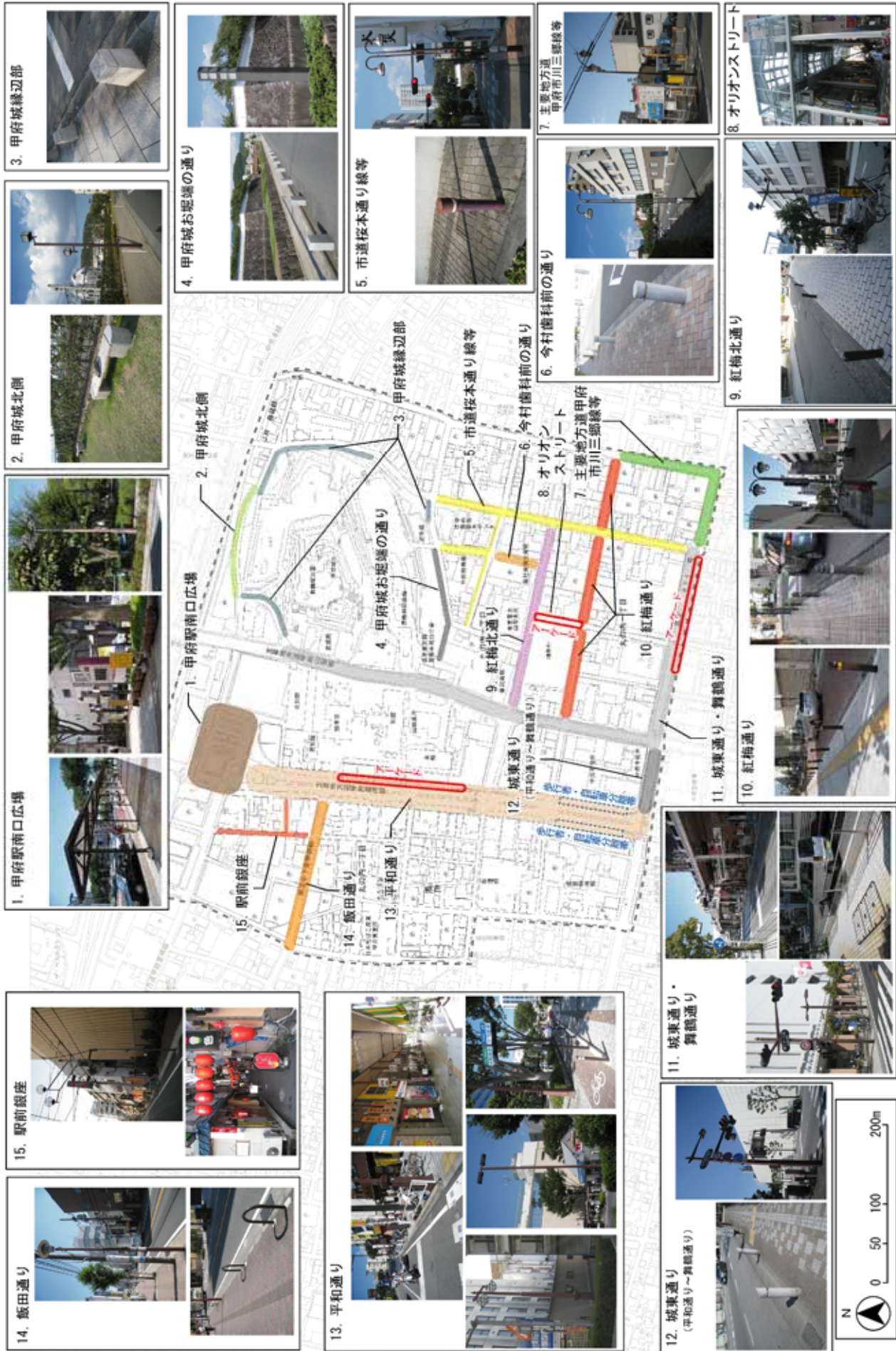
#### 夜間景観（照明）

店舗が閉まっていることもあり全般的に通りが暗い印象があるが、甲府城周辺ではライトアップも行われており、印象的な夜間景観を呈している。

# 歩道の舗装



ストリートファニチャ（線状に設置されているもの）



ストリートファニチャ（単独で設置されているもの）

